

新

年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は「こおりプライド」の象徴である本町産桃の29年連続となる天皇家・宮家への献上、全国に「伊達氏発祥の地」として魅力を発信した「桑折西山城まつり」、町民一人一人の健康づくり推進のための「ヘルスアップタウンこおり」宣言など、総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」が目指す「みんなが幸せを実感できる 元気なまちこおり」実現のため、各種施策に取り組んでまいりました。民間事業者の調査「住み続けたい街ランキング」において県内1位に輝いたことは、これらの取組みが高い評価を得た結果であり、総合計画初年度として施策が着実に推進できたものと捉えております。一方、2年連続での地震被害や出口の見えないコロナ禍、さらには原油高騰・物価高などが、町民生活に暗い影を落としました。この間、公費解体などの被災者支援をはじめ、ワクチン接種の推進や学校給食費の実質無償化、プレミアム商品券発行、低所得者層を対象とした生活支援など、誰一人取り残さない「優しいまちづくり」に努めてきたところであり、今後も、時機を逸することなく、確実に事業を実施してまいります。

本年は、総合計画に掲げる「6恵6幸こおり 未来プラン」実現に向け、重点プロジェクトを中心に各種施策を軌道に乗せる重要な年であることから、最小の経費で最大の効果を上げることはもとより、あらゆる分野において時代の潮流を捉えた「桑折ならではの」の事業を展開し、今後も本町が「住み続けたいまち」であり続けられるよう、職員一丸となって行政執行にあたってまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新

年明けましておめでとうございます。令和5年の年頭にあたり、議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

初めに、旧年中は皆さまには議会活動各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。議員一同深く感謝申し上げますとともに、本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年引き続く新型コロナウイルス感染症や3月に発生した福島県沖地震対応などの影響により、さまざまな行政活動や議会活動が自粛を余儀なくされました。改めて地震被害に遭われた方々やコロナに感染してしまった方々に心よりお見舞い申し上げます。一方、ロシアのウクライナ侵攻により、食料やエネルギーなどの物価の高騰や円安の影響により、私たちの生活にも大きな影響が及んだ年でもありました。その中で、本町では4月からスタートした新総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」の実現に向け、各種事業が進められ「ピーチリパーク157」のオープンや「SDGｓ推進町民会議」の設立、「こおり西山城まつり」の開催、連続29回目の「献上桃贈呈」、さらには、蚕糸跡地利活用の促進や歴史文化エリア事業など、新たな「こおり新時代」を創造する事業に着手しました。近隣においても、伊達桑折IC周辺の土地利用計画やイオンモール福島（仮）開発も鋭意進められています。「住み続けたいまちランキング2022」県内1位の評価も得ている本町にとって、定住促進対策や人口減少対策は絶好の機会であり、時機を逸することなく進める事も重要です。新年にあたり、新型コロナウイルス対策はもとより、経済格差対策など、多くの課題解決が求められます。議会は、町民の代表機関として皆さまの声を幅広く伺い、町政に反映させ、今後とも町民主体のまちづくりのため取り組んでまいります。



桑折町長 高橋 宣博



桑折町議会議長 片平 秀雄

New Year's greetings 2023

新年のごあいさつ